

団結！高総体に闘志燃やす

葛巻高校には9つの運動部（硬式野球、サッカー、男子バスケットボール、女子バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、陸上競技、卓球、剣道）があり、このうち硬式野球を除く8つの部が、県総合体育大会（5月19日～31日開催）に出場しました。

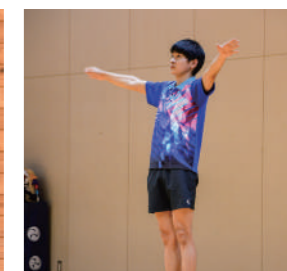
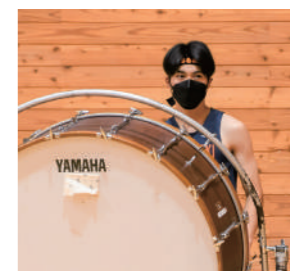
5月16日に同校体育館で行われた壮行式では、佐藤和真生徒会長が「3年生は最後の大会です。悔いの無いように頑張ってください」とあいさつし、菅常久校長が「普段の自分を失わず、平常心で持てる力を思う存分発揮してください」と激励しました。

各運動部はステージに上がり、「この大会で終わるのではなく、さらに上の大会に出場する気持ちで臨みます」など力強く決意表明。少人数ながらも学年を超えて団結し、熱い闘志を見せていました。

※高総体の競技結果は県高等学校体育連盟のホームページから確認できます。



壮行式に整列する選手



太鼓に合わせて校歌を指揮する応援委員



女子バスケットボール部



男子バスケットボール部



サッカー部



剣道部



ソフトテニス部



バレーボール部



卓球部（女子）



卓球部（男子）



陸上競技部

酪農家から町の基幹産業を学ぶ

葛巻高校の1年生46人は5月18日、総合的な探究の時間の授業で、基幹産業の学習や町の特色となる施設の見学を行いました。

星野地区の八幡牧場を訪ねた生徒は、八幡勝幸さんから酪農経営について話を聞きました。八幡さんは「世の中の変化に合わせて、考え方ややり方を変えていかなければならない」と酪農経営には柔軟性が必要であることを説明。また、自身が高校生だった当時を振り返り「若い時には酪農が嫌だったこともあったが、今はやりがいや楽しさを感じている。農家の子どもでもなくとも農業ができる時代になり、たくさんの方のチャンスがあるので、興味がある人はチャレンジを」と語りかけていました。

牛舎を見学した山村留学生の池田陸哉さんは「一人なつこい牛もいれば、人を避ける牛もおもしろい。牛乳が好きで、酪農に興味があり葛巻に来たが、八幡さんの話を聞いてますますやってみようと思った」と目を輝かせていました。

生徒たちはその後、上外川の風力発電施設や(株)岩手くずまきワインなどを見学し、地域への理解を深めました。



八幡牧場の牛と触れあう生徒たち



八幡勝幸さん（上）から酪農経営の話聞く様子



高校生記者レポート



六角聖弥（2年）
皆さんこんにちは！葛巻高校2年の六角聖弥です。高校生記者になりました。よろしくお願ひします。

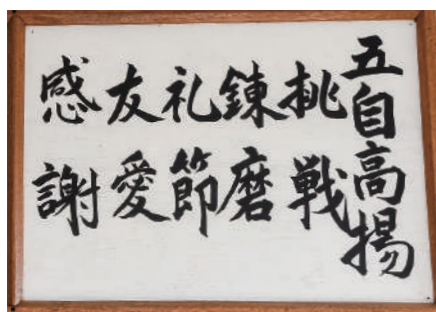
この五つの心を忘れずに更なる高みを目指し、自身身を磨き続けていきます。

次に、葛巻生魂について紹介します。葛巻生魂として「施無畏」という言葉があります。これは何事にも恐れずに無心で立ち向かうという意味です。

葛巻生は、この2つの言葉を心に刻み、部活動に励んでいます。皆さんの応援、よろしくお願ひします。

5月12日に県高校総合体育大会の開会式が行われ、令和4年度の部活動の諸大会が本格的にスタートしました。3年生にとって、高校3年間の集大成として最高の舞台になるよう、1、2年生は全力でサポートできるように、日々の練習に励んでいます。そんな葛巻生の気持ちを支える根底にあるものとは何なのでしょう？今回は葛巻高校の校是や葛巻生魂について少しだけ紹介します。

初めに、葛巻高校の校是について紹介します。葛巻高校の校是の一つに「五自高揚」という言葉があります。「挑戦・練磨・礼節・友愛・感謝」という、五つの心を実践目標として自らを高めるといふ、意味です。どんな時でも、



体育館入り口に掲げられている「五自高揚」